



繊維製造のノズミ

# 布製担架を商品化

繊維製品企画・製造のノズミ(徳島市)が、布製の担架「キャリングシート」の写真を商品化した。介護、医療現場での患者らの移動にかかる負担を軽減。狭い場所でも使え、コンパクトに収納できるのも利点で、南海トラフ巨大地震に備えた災害用備蓄としても販路拡大を目指す。

キャリングシートは縦160センチ、横60センチ。両サイドに持ち手となる8カ所の穴を設けた。横になっている人の下に敷き込んで使う仕組みで、持ち手部分を6層構造にして強度を高め、200キログラムまでの荷重に対応。最小でB4サイズに折りたたむことができる。

介護など主に屋内での利用を見込んだ綿100%の青色製品と、救急医療など屋外での利用を想定したポリエステル、綿混のオレンジ色製品の2種類がある。ともに1枚1万5000円。白衣や制服を納入して

## 介護・災害用に期待

いた介護施設で、寝たきりのお年寄りをベッドから移動させるのに苦労する職員を見て、少数で安全に対応できるよう開発に着手。東北で震災ボランティアを続ける県内の医師から、災害時にも使えるのではとの意見を聞き、改良を重ねた。

これまで徳島市消防局に納入したほか、県立防災センター(北島町)の防災用品コーナーで紹介されている。さらに防火性の高い素材を使うなどして用途を広げ、販売代理店を募って県外にも展開していきたい考えだ。

(湊健治)